

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日：令和6年3月29日

事業所名：医ケア児童支援センターアウレット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	3	3	0		祝日や長期休み時は普段と違い、午前中からの利用を希望する児童が増える為、利用が被り対応困難になる状況が生まれます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		計画して実行出来るよう設定します。また、適宜モニタリングを行い見直しをします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	0		保護者の意見を把握し、ニーズに対応出来るよう努力します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0		職員全員がホームページに掲載されている事が周知出来るようにします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	5		第三者による外部評価を現在行っていません。導入出来るか検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	1		職員全員が勉強に参加出来る仕組みを検討します。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		保護者のニーズに寄り添い、児童の課題、目標など適切にアセスメントを行い計画を作成出来るように気を付けます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	1		職員全員がアセスメントが行えるよう話合います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0		全員で話し合い立案するようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0		休日や長期休暇に応じて課題を設定できるよう検討します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		相談支援事業所と連携して、個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1	1		ガイドラインの総則が皆が理解出来るような仕組みを考えます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	0	ふさわしい者として、管理者が参加させて頂いています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	3	0	学校と情報共有するよう調整します。また、トラブルが発生した時は書面に残し再発防止に努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0	情報共有を行い、適切に支援出来るようにします。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	0	情報共有を行い、適切に支援出来るようにします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1	専門機関とは連携を行い、アドバイスや知識の導入が出来るようにします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1	放課後児童クラブや児童館との交流が出来るか検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	1	協議会へ参加出来るよう調整します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	共通理解出来るように努めます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	3	ペアレントトレーニングの導入が出来るか検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	契約時にきちんと説明していますが、時間が立つと忘れてしまう事もありますので、定期的に確認するようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	4	ニーズが有るか確認し、開催出来るよう対応・調整します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	苦情が有った場合は、迅速に適切に対応できるようにします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	1	行事や活動を保護者に発信できるようにします。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	配慮出来るよう心掛けます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2	地域と関わりが生まれるよう考えます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	周知できるように対策します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	1	災害に備え、訓練します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	0	虐待研修を行い、適切な対応が出来るようにします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	0	身体拘束について理解を深め、組織的に動けるようにします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	医師と連携して対応出来るようにします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	1	インシデント、アクシデントにならないように、ヒヤリハットを行います。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表日 : 令和6年3月29日

事業所名: 医ケア児童支援センターアウレット

保護者等数(児童数4)

回収数 4

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	1	リハビリをして頂いてます。	これからも専門性を追求して満足度が上がるよう努力します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3	1	0	毎月、行事を楽しみにしています。	毎月変化を持たせ、ニーズを満たせるよう工夫します。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	3	1	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	交流が有るか良く分かりません。	児童クラブや児童館と交流出来か検討します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	1	契約内容の変更がある場合、事前に相談して下さい。	契約内容の変更が有る場合については、事前に相談してご理解頂けるように気を付けます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	0	0	活動の様子をいつも教えて頂いています。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	1		ニーズを把握し、それに対応出来るよう努力します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	1		ニーズを把握し、それに対応出来るよう努力します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	0		相談支援事業所とも連携して対応出来るようにします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	1		配慮出来るよう努めます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	0		発信が途切れないよう気を付けます。
14 個人情報に十分注意しているか	4	0	0		定期的に研修を行い、管理を徹底します。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	1		非難訓練だけでなく、BLSなど救命処置なども導入出来るように頑張ります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0		毎日楽しみにして頂けるよう頑張ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	3	0	1		満足して頂けるよう頑張ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。